

普及活動情勢報告（令和6年4月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ユズの生産基盤の維持・強化と生産の安定を目指して ～ユズ便り始めました～



ユズは吾北地域の基幹品目であり、令和5年度には、自動選果機が導入されました。また、ドローンを利用した病害虫防除などスマート農業にも取り組んでいます。

農業改良普及課では、更に生産の安定を実現するために、本年4月より栽培技術や地域の情報等を生産者の方々にお伝えするための「ゆず便り」を毎月1回発行することとしました。

「わかりやすく、ちょっとだけためになる」をコンセプトに作成して参ります。現在、JA高知県吾北支所、いの町吾北総合支所にて配布しておりますので、是非お手にとりご覧ください。

露地ニラの定植スタート！ ～吾北露地ニラ講習会～



4月11日、JAコスモスニラ生産部の吾北露地ニラ生産者を対象に露地ニラ定植前講習会を開催しました。

JAは農薬について、農業改良普及課は定植から収穫までの栽培管理や注意すべき病害虫について指導しました。

生産者からは今年の新苗のでき具合やネダニの防除方法、雑草の対策等について質問や意見が飛び交い、活発な講習会となりました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携し、吾北露地ニラの収量増加のために支援していきます。

収量増を目指して ～サポートチームによる現地確認～



4月16日、土佐市新居地区のサポートチームがズッキーニの現地確認と複合品目としてのメロンの栽培について検討を行いました。

JAはメロンの苗作りやメロン導入に向けたズッキーニの適期栽培について、また農業改良普及課はキルパーによる土壌消毒について説明を行いました。

生産者からは、キルパーの使用方やメロンの防虫ネットについて質問があり、併せて、栽培スケジュールの確認がなされました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して収量増に向けて支援していきます。